３．救命救急搬送への貢献

■ 佐伯市を管轄している佐伯市消防署では、急病者や負傷者の管外搬送や、管内から管外への転院搬送に東九州道を利用しています。

■ 佐伯市消防署では、開通後１年間で 100 件の管外搬送を行っており、その全てにおいて東九州道を利用しています。（佐伯市消防署ヒアリング）



《佐伯市消防署 救急隊員の声》

以前は ほとんどが国道 10 号を利用した搬送でしたが、現在では 全て東九州道を利用した搬送になっています。一般道に比べカーブが少なく 舗装路面の状況も良いので、車両の揺れも少なくなり患者さんへの負担軽減に繋がっていると感じています。また、佐伯市内から大分市内の病院へ搬送する場合、搬送時間が平均 15 分程度短縮され、患者さんへの負担と伴に救急隊員の作業負担も軽減されたと思います。